



# 飛騨の地酒堪能

## 酒造12蔵 観光客ら飲み比べ

高山市

飛騨地域の造り酒屋12蔵の新酒などが飲み比べできる「新春飛騨の蔵元勢ぞろい」(飛騨・高山観光コンベンション協会など主催)が、高山市上一之町の

飛騨地域の12蔵の地酒を飲み比べる観光客ら。高山市上一之町、飛騨高山まちの博物館

飛騨高山まちの博物館で開かれ、観光客らが飛騨の地酒を心行くまで味わった。

毎年冬に催している「飛騨の地酒ぬーぼー」を一新し、同館で初開催。各蔵が純米大吟醸や熟成古酒など自慢の銘柄を出品した。オープニングセレモニーでは、同協会の堀

泰則会長が「この飛騨の宝物を磨き上げ、世界に情報発信していきたい」とあいさつ。関係者がたる割りをして初開催を祝った。

会場ではたる酒や餅などが振る舞われ、観光客らはちよこを手に個性豊かな地酒の飲み比べを堪能。京都市の大学生山田博之さん(22)は「おいしかった。普段飲んでる酒とこんなに味が違うのかと驚いた」と話していた。(井上吉博)